

2019年1月15日

第1回加藤敏夫フェロー（2019年度）決定

東南アジア在住の若手研究者を対象とした、第一回2019年加藤敏夫フェローの応募（2018年9月30日締め切り）応募が行われ、10件の応募がありました。応募者の中から、日本数学会、東南アジア数学会から構成される加藤フェロー選考委員会において慎重な審議・検討がなされ、最終的に Ngo Quoc Anh 氏（下記）が選考されました。理事会での承認を経て同氏に通知され、受賞を受諾され、2019年度に開始して、受け入れ大学による1年の研究滞在をする運びとなりました。

なお、2018年6月18日に公開されてから締め切りが9月30日という限られた応募期間内で、現在活躍されている東南アジア在住の若手数学者への応募に声をかけてくださった方々、またフェロー採択の際に受け入れを引き受けてくださった方々など、多くの数学会会員の方々から加藤フェローへの御協力をいただきました。断腸の思いで受賞者一人に絞ることになりましたが、お陰様で、多くの優秀な応募者にも恵まれました。この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

今後とも東南アジア若手数学者育成という目的のもと、加藤フェローを継続していく所存ですので、ご協力何卒よろしくお願い申し上げます。

今回加藤敏夫フェローを受賞された方と受け入れ研究者は次の通りです。

Ngo Quoc Anh 氏：ベトナム国立大学 University of Science,
Department of Mathematics, Mechanics and Information,
講師

受け入れ教員：儀我 美一氏 東京大学大学院・数理科学研究科・教授

担当理事
寺杣 友秀